

平成 21 年度市政モニター 第 1 回アンケート結果

テーマ 1

「八王子市地域福祉推進計画について」

健康福祉部健康福祉総務課

テーマ 2

「地産地消の推進について」

産業振興部農林課

八王子市総合政策部広聴広報室

目 次

《市政モニターの属性》	1
テーマ 1 【八王子市地域福祉推進計画について】	
◆問 1 あなたと福祉との関わりについて	2
◆問 2 住民相互の自主的な協力関係が必要だと思うか	3
◆問 3 近所で困っている人に対する支援について	3
◆問 4 地域社会の主な役割として、どのようなことを期待するか	4
◆問 5 地域の民生委員・児童委員を知っているか	5
◆問 6 八王子市社会福祉協議会を知っているか	5
◆問 7 八王子市社会福祉協議会に今後の活動・支援として充実して欲しいものについて	6
◆問 8 身の回りのことで困ったときに誰に相談するか	6
◆問 9 地域福祉権利擁護事業を知っているか	7
◆問10 成年後見制度を知っているか	7
◆問11 自助活動を除くボランティア活動に参加したことがあるか	8
◆問12 八王子市社会福祉協議会に対するご意見・ご要望(自由記入)	9
テーマ 2 【地産地消の推進について】	
◆問 1 「地産地消」の言葉の意味を知っているか	22
◆問 2 「地産地消」に対して関心があるか	22
◆問 3 農畜産物を購入する際、何を基準で選んでいるか	23
◆問 4 市内産の農畜産物を購入したことがあるか	24
◆問 4-1 市内の農畜産物を意識して購入しているか	24
◆問 4-2 市内の農畜産物を意識して購入する場所はどこか	25
◆問 4-3 1年間に購入した農畜産物のうち、市内産の割合はどの程度か	26
◆問 5 市内産農畜産物の情報の入手方法として期待するのは	26
◆問 6 他産地より高価な場合、価格差がいくらであれば購入するか	27
◆問 7 「地産地消」推進のために、今後どのような取り組みが重要か	28
◆問 8 農産物直売所で購入する頻度はどのくらいか	29
◆問 9 農産物直売所で購入する主な理由は何か	29
◆問10 農産物直売所で購入する品目は何か	30
◆問11 農産物直売所で購入する金額(1回あたり)はどのくらいか	31
◆問12 農産物直売所を利用しない理由は何か	31
◆問13 市内の農産物直売所の数についてどのように感じるか	32
◆問14 道の駅「八王子滝山」に行ったことはあるか	33
◆問 14-1 道の駅「八王子滝山」にどのような品物があれば買いに行くか	33
◆問 14-2 道の駅「八王子滝山」に行かない理由は何か	34
◆問15 八王子のお土産としてイメージするのはどのような品物か	35
◆問16 「地産地消」についてのご意見・ご要望(自由記入)	36

≪ 市政モニターの属性 ≫

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		39	39	61	59	100	98
性別	男性	11	11	32	31	43	42
	女性	28	28	29	28	57	56
年代	10歳代	0	0	1	1	1	1
	20歳代	0	0	7	7	7	7
	30歳代	16	16	19	17	35	33
	40歳代	5	5	7	7	12	12
	50歳代	5	5	5	5	10	10
	60歳代	9	9	20	20	29	29
	70歳代	3	3	2	2	5	5
	80歳代	1	1	0	0	1	1
地区	中央 (本庁地区)	8	8	14	14	22	22
	西南部 (浅川・横山・館地区)	8	8	13	11	21	19
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	6	6	16	16	22	22
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	6	6	5	5	11	11
	東南部 (由井・北野地区)	7	7	11	11	18	18
	北部 (加住・石川地区)	4	4	2	2	6	6

※ アンケート実施期間:平成 21 年 6 月 13 日から平成 21 年 6 月 29 日まで

※ 回収率:98.0%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

八王子市地域福祉推進計画について

健康福祉部健康福祉総務課

市は「八王子市地域保健福祉計画」の一つとして、地域福祉計画を平成 20 年 3 月に策定し、平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 年間を計画期間として、「八王子ゆめおりプラン」の都市像である「一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち」の実現へ向け取り組みを行っています。

さらに、地域福祉計画では「民間計画」である地域福祉推進計画を社会福祉協議会が策定することが位置付けられ、これまで以上に地域福祉推進の中核的団体として、計画の実行期間に合わせた拡充を求められています。

このアンケートは、市民の皆さんの地域福祉に対する考え方などを把握し、平成 21 年度に社会福祉協議会が八王子市地域福祉推進計画を作成するうえでの基礎資料とするものです。

問 1 あなたと福祉との関わりは次のどれですか。

(〇はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
福祉との関わりはない	61.2
ボランティア活動をしている	22.4
福祉や介護のサービスを利用している	13.3
NPO活動をしている	3.1
福祉関係の仕事をしている	5.1
無回答	1.0

(複数回答)

福祉との関わりについて聞いたところ、「福祉との関わりはない」が6割強(61.2%)で最も高く、「ボランティア活動をしている」が2割強(22.4%)で続いた。

問2 お住まいの地域で身近な問題を抱えていたり援助を必要とされている方に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。 (○は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
必要だと思う	87.8
必要だと思わない	3.1
わからない	9.2

お住まいの地域で身近な問題を抱えていたり援助を必要とされている方に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思うかきいたところ、「必要だと思う」が9割弱(87.8%)で突出して高かった。一方、「必要だと思わない」は3.1%であった。

問3 ひとり暮らし高齢者、寝たきりの高齢者や障がいのある人がいる家族、子育てをしている家族など、近所で困っている人に対する支援(日常生活上のお手伝いなど)について、あなたの考えに最も近いものは次のどれですか。 (○は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない	33.7
できる範囲で支援したい	29.6
支援をしたいが、何をすればよいのかわからない	24.5
その他	7.1
わからない	2.0
余計なお世話になってしまうので、支援はしない	1.0
支援は市役所など行政の仕事だから、近所ではあまり支援する必要はない	1.0
無回答	1.0

近所で困っている人に対する支援(日常生活上のお手伝いなど)について、あなたの考えに最も近いものを聞いたところ、「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が3割強(33.7%)で最も高かった。「できる範囲で支援したい」が3割弱(29.6%)、「支援をしたいが、何をすればよいのかわからない」が2割半ば(24.5%)で続いた。

【その他】

- 1 支援するべきである。
- 2 自治会でボランティア組織を立ち上げて支援したい。
- 3 支援をしたいが、充分なご近所との付き合いがない。
- 4 できる範囲で支援したい気持ちはあるが、手を差し伸べたことが結果としてトラブルの原因となったり、誤解を招いたりしかねない昨今の状況では、安易に手を出せない。
- 5 他人が介入することが余計負担になることもあるので難しいとは思いますが、近所とのつながりはあるべきと思う。
- 6 個人情報、利害・利権、無差別な犯罪が多い時代なので、市が介入した方がよい。
- 7 いずれはしたいが、信頼関係がまだ出来上がっていないので難しい。
- 8 介護サービスの活用。

問4 あなたは、地域社会の主な役割として、どのようなことを期待しますか。

(○は3つまで)

(n=98)

	構成比(%)
防災・防犯などの日頃の協力	70.4
子どもや高齢者の見守り・お世話等の助け合い	55.1
災害時など、緊急事態が起きたときの対応	49.0
景観保護や地域の清掃などの環境づくり	35.7
お祭りなどの住民間の交流	28.6
リサイクル活動や自然保護の活動	27.6
騒音など、地域での問題・トラブルの解決	15.3
その他	2.0
特にない	0.0
無回答	1.0

(複数回答)

地域社会の主な役割として、どのようなことを期待するかきいたところ、「防災・防犯などの日頃の協力」が約7割(70.4%)で最も高かった。「子どもや高齢者の見守り・お世話等の助け合い」が5割半ば(55.1%)、「災害時など、緊急事態が起きたときの対応」が5割弱(49.0%)で続いた。

【その他】

- 1 町会トップの人間性によっては期待できない／その場かぎりのお調子者。
- 2 仕事を超えたつながり。

問5 あなたがお住まいの地域の民生委員・児童委員を知っていますか。

(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
知らない	67.3
相談に乗ってもらったりしたことはないが、知ってはいる	30.6
相談に乗ってもらったこともあり、よく知っている	2.0

お住まいの地域の民生委員・児童委員を知っているかきいたところ、「知らない」が7割弱(67.3%)で最も高かった。一方、「相談に乗ってもらったこともあり、よく知っている」は、2.0%であった。

問6 あなたは、八王子市社会福祉協議会を知っていますか。

(○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない	60.2
名前も活動の内容もよく知っている	20.4
名前も活動の内容も知らない	19.4

八王子市社会福祉協議会を知っているかきいたところ、「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が約6割(60.2%)で最も高かった。

問7 八王子市社会福祉協議会では、地域における様々な福祉問題に向けて活動や支援を行っています。あなたが今後の活動・支援として充実して欲しいものはどれですか。

(○は3つまで)

(n=98)

	構成比(%)
誰もが安心して、住み慣れた地域・在宅で生活するための福祉サービス	59.2
身近なところで福祉の相談ができる窓口	40.8
子育てに関する支援	35.7
高齢者や障がいのある人など支援を必要とする方や団体への支援	32.7
住民による身近な支え合い活動への支援	31.6
ボランティア活動への住民の参加促進と支援	28.6
児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の推進	23.5
福祉に関する情報発信	21.4
特にない	0.0
無回答	3.1

(複数回答)

八王子市社会福祉協議会に対して、今後の活動・支援として充実して欲しいものは何かきいたところ、「誰もが安心して、住み慣れた地域・在宅で生活するための福祉サービス」が6割弱(59.2%)で最も高かった。「身近なところで福祉の相談ができる窓口」が約4割(40.8%)、「子育てに関する支援」が3割半ば(35.7%)で続いた。

問8 あなたは、身の回りのことで困ったとき誰に相談しますか。(○はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
家族・親戚	92.9
友人・知人	73.5
市役所	26.5
福祉施設	7.1
民生委員・児童委員	5.1
特にない	4.1
社会福祉協議会	3.1

(複数回答)

身の回りのことで困ったとき誰に相談するか聞いたところ、「家族・親戚」が9割強(92.9%)で最も高かった。「友人・知人」が7割強(73.5%)で続いた。「社会福祉協議会」は3.1%であった。

問9 あなたは、地域福祉権利擁護事業を知っていますか。 (○は1つだけ)
(n=98)

	構成比(%)
まったく知らない	74.5
名前は知っているがよくわからない	18.4
大体のことなら知っている	6.1
よく知っている	1.0

地域福祉権利擁護事業を知っているか聞いたところ、「まったく知らない」が7割半ば(74.5%)で最も高かった。一方、「よく知っている」は1.0%であった。

問10 あなたは、成年後見制度を知っていますか。 (○は1つだけ)
(n=98)

	構成比(%)
名前は知っているがよくわからない	45.9
大体のことなら知っている	27.6
まったく知らない	14.3
よく知っている	12.2

成年後見制度を知っているか聞いたところ、「名前は知っているがよくわからない」が4割半ば(45.9%)で最も高かった。一方、「よく知っている」は1割強(12.2%)であった。

問 11 今までに自助活動を除くボランティア活動に参加したことがありますか。

(○はいくつでも)

(n=98)

	構成比 (%)
募金等における協力 (赤い羽根、歳末たすけあいや他の募金活動) や物品提供	39.8
ボランティア活動へ参加はしてみたいが、具体的な活動内容がわからない	23.5
福祉イベント等への参加協力または実行委員会等での活動	21.4
地域での障がい者等への介助や支援、労力奉仕等	18.4
福祉講座等への参加、協力	15.3
学校、教育現場等での技術・指導	12.2
地域サロン(高齢者・子育て等)での活動支援、協力、援助等	4.1
その他	19.4
無回答	5.1

(複数回答)

今までに自助活動を除くボランティア活動に参加したことがあるかきいたところ、「募金等における協力 (赤い羽根、歳末たすけあいや他の募金活動) や物品提供」が4割弱 (39.8%) で最も高かった。「ボランティア活動へ参加はしてみたいが、具体的な活動内容がわからない」が2割強 (23.5%) で続いた。

【その他】

- 1 他市にて市民後見人として活動中。
- 2 老人ホームで傾聴ボランティアをしている。
- 3 環境関係のボランティアに参加している。
- 4 青少年活動 (リーダー活動)・インタープリター。
- 5 海外からの留学生の引率の先生や学生のホームステイの受け入れを数回。
- 6 これまでなかったが、今月より防犯パトロールに参加している。
- 7 学童保育所のキャンプ・お別れ遠足の付き添い。
- 8 地域は県外であるが、障害者の方の介助。
- 9 子ども会の役員・学校の役員
- 10 子ども会活動
- 11 都立公園の安全巡回パトロール・畑グループでの活動。
- 12 養護老人ホームでのボランティア活動に自ら依頼して参加。

- 1 3 町内会理事
- 1 4 普段から電車内で妊婦さんや高齢者に席を譲ったり、ホームの階段でベビーカーを持ってあげたりするなどを心がけている。
- 1 5 ボランティアは、有償でない限りは本人の希望と、時間をつくることができる人が行うべき。福祉という名のもとに、みじんも「強制」の雰囲気があるてはならない。なぜなら、「親子ひろば」などで、「頼まれて、ひろばで遊ぶ子どもの見守り、一緒に遊ぶというボランティアをやっている主婦」が何人かいる。もし、「断れずに」やっているのだとしたら、本当にお気の毒なことだ。本当はその時間を、家事にも、あるいは仕事にもあてられるはずだ。福祉だと、とかく「断る」と悪い人だと思われるのを恐れて、断らずにずるずる長時間ボランティアをしがちだ。あまりに負担過ぎる。あつてはならないことだ。心の底から望んでやっていたら何も言うことはない。しかし、何かを犠牲にしてまで、無理してまですることではない。
- 1 6 今現在は、仕事・子育てに忙しく、ボランティアをする余裕がない。
- 1 7 家で仕事をしているので出来ない。

問 12 八王子市社会福祉協議会に対するご意見やご要望がありましたら、自由にお書きください。 (300字以内)

- 1 活動の内容もよく知っている。ただ福祉の必要な物を売っているが、主な仕事に見えるボランティアも必要である。それより福祉教育・子育て支援・高齢者支援を進めてほしい。病気になって福祉のことを知っている人は少ないと思う。
- 2 私は平成 18 年度に市役所健康福祉部のシニア元気塾コーディネーターコースを修了したが、その後関わりもなくそれきりとなっている。受講修了のほとんどが同様と聞く。八王子市社会福祉協議会の活動は、幅広いものがあることは承知している。今後進む少子高齢化社会においては、ますますその活動が必要となると考える。現役を終え、社会福祉へのお手伝いができる人が増えている一方、どこでどのような関わりを持てばお手伝いができるのかわからない人が多いはず。“広報はちおうじ”その他で、もっと参加を呼びかけPRがあってもよいのではないか。
- 3 母(別居・要介護2)がおり、八王子市社会福祉協議会は知っている。が、どのような関わりを持てばよいのかわからない。年に1回、老人を対象にした【食事会】があり、その度に母を参加させたいと考えているが、『歩行困難な老人には対応していない』…とのことなので、母の参加は事実上“無理”だ。このような理由で家にこもっている老人は多いと思うが、八王子市社会福祉協議会も、民間の介護施設に近い対応をしてほしいと思う。

- 4 八王子市社会協議会の窓口を多くしてほしい。例えば、市内の公共施設にポスターを貼る等してPRをしたり、アクセスしやすいホームページを作成してほしい。ボランティア団体の本部組織機能を担ってほしい。ボランティアは、方法や教育を徹底することで、より継続してもらい参加しやすくなるので、取りまとめ役をしてもらいたい。市内の大学生や会社を退職した方々に、積極的にボランティア参加を促してもらいたい。サークル活動や趣味のように、気軽に楽しみながら参加できるボランティア組織の発足を求める。特に元気な高齢者に、人生経験が生きるようなことを發揮していただくためのボランティア企画を強く望む。
- 5 名前はよく知ってはいるが、あまり活動を目の当たりにすることがないので、もっと定期的に土・日など駅前などで活動のPRを兼ねて説明してほしい。
- 6 正直、名前を聞いたことがある（プールで）。自分には関わりのない団体だと思っている。存在すら知らない人も多いのではないか。主に何をしているのか、どういった関わり方ができるのか等も含め、まず存在自体を知ってもらうことから始めたほうがよいのではないか。
- 7 ボランティア活動を通じて八王子市社会福祉協議会の名前はよく聞くが、どんな仕事内容があるのかわからなかったのでインターネットで調べてみた。いわゆる地域で弱者といわれる人達を地域みんなで支えていこうという主旨だと思ったが、市民との関わりが少ない感じがする。時間に余裕のある人達がもっと積極的に参加できるよう大いにPRしてほしい。いろいろなニーズに応えられるよう町内会の回覧など大いに利用してほしい。八王子市社会福祉協議会への寄付など見たことはある。
- 8 名前は知っているが、どんな活動をしているのか、またどこで情報を得られるのかが全くわからない。活動内容を知りたいと思うが、子育て中の場合、なかなか広報に目を通したり、市役所に出向いて資料を閲覧したりする時間をつくるのが出来ない。例えば幼稚園や、小・中学校の配布資料として情報発信の場をもっと広げてもらえると助かる。
- 9 名前は聞いたことはあるが、存在や活動については申し訳ないが何も知らなかった。そこで、早速ホームページで調べてみると、とても簡潔に表示されていて高齢者・障害者・子育て支援等、さまざまな分野で活動されていることがわかった。地域の方が、ボランティアで参加されている方も多々いらっしゃり、更に支援を求めている現状のようだが、ただ参加するだけでなく、仕事の内容等を深く理解するために、内容により事前に学習会等を開催し、知識を得てから参加された方が、よりよい内容の充実・支援が行えるのではないかと思った。

- 1 0 八王子市社会福祉協議会についての名前はよく聞くのだが、具体的な活動や身近なところでどなたがどう地域に関わっているのかわからない。今のところ、福祉と縁がなく生活しているからだと思うが、今後、我が家も夫と私の両親を身近なところでみるようになり、将来大変にお世話になるかと思う。高齢者の問題等、知識がないので、今のうちに知っておかなければいけないことが多くあると思っている。その窓口が地域の社会福祉協議会であるとういと思う。今まで近くのひとり暮らしの高齢者の方が入院した時、猫のえさやりを頼まれた。留守宅に訪問することは抵抗があり、地域ぐるみの支援活動は今後のため推進計画が必要である。
- 1 1 年末のチャリティーのチラシをみかけるが、実際年間でどういう活動をしているのか、わからない。もう少しPR活動もしてほしい。
- 1 2 毎年町会で集金しているので会費を払っているが、どのように使われているのかわからない人が多いようだ。年何回か発行される広報を見て知るくらいである。八王子市社会福祉協議会は市役所本庁舎内にある、どのような活動をしているのかあまりわからない。八王子市社会福祉協議会のなかに、ういずサービスとボランティアセンターがあるのかと思っているが、それでよいのだろうか。もっとどのようなことをしているのか冊子などで知らせるとよいと思う。ボランティアセンターのふれあいまつりも毎年行っているが、もっとポスターをあちこちに貼るなどしてもよいのでは。せつかくなので仕事なども紹介したらよいのではないか。
- 1 3 私自身、活動内容をあまり理解していないようである。市内の学童保育所の運営をしていることは知っていた。自分が困っている時は、助けてほしいと思うのだが、他人が困っている時は黙っていればわからないし、もしわかった場合もどう助けたらよいのか戸惑うことがある。助け合いの制度づくりができていれば、その制度に則り、できる範囲で参加したいと思う。よりよい地域社会づくりを目指して活動内容を情報発信してほしい。
- 1 4 市民にその存在をもう少しアピールし、役割を明らかにした方がよいと思う。その上で他の団体・機関では出来ない機能を特化して発展していくことを期待する。
- 1 5 存在を知らない方が多いと思う。何をしているのか、どうしたら参加できるのか、どのようなサービスがあるのか。広報紙や市役所においてある資料やホームページ等は、きちんと見るのは一部の方で、もっと誰でもが存在を知るような広報がないと、一部の人だけでやっても地域に根付いていけないのではないかとと思う。
- 1 6 お恥ずかしいのだが、八王子市社会福祉協議会がどこにある、どういう組織なのか、何をやっているのか、全くと言ってよいほど知らない。そのため正直なところ、意見どころかそこから勉強したいと思う。

- 1 7 名前が長く漢字ばかり、難しいイメージが先立ってしまう。どんな団体なのかよくわからない。どの年齢層の方がみてもわかりやすく、相談しやすいイメージがほしいと思う。
- 1 8 私は日本語を教えたり点字や手話でボランティアをしているが、直接、八王子市社会福祉協議会に連絡したことがなく、内容がわからない。まして、具体的に福祉に関わっていなければ全くわからないのではないか。もっと宣伝が必要である。八王子市社会協議会の広報があったように思うが、もう少し楽しいものにしてほしい。面白みがない。
- 1 9 何をしている団体なのか、内容が全くわからない。活動内容の市民へのアピールが必要ではないかと思う。
- 2 0 私は、八王子市に引っ越して来て1年になるが、全く八王子市社会福祉協議会についての知識がなかった。活動内容についても何もわからないので、どういう時に八王子市社会福祉協議会にお世話になるのか、相談するのもわからない。もし、団体相手ではなく、個人でもお世話になることがあるのであれば、もう少し八王子市社会福祉協議会に対する知識がほしい。広報はちおうじ等で“活動内容”を報告してもらえるとありがたい。
- 2 1 恥ずかしながら、八王子に30年近く在住して八王子市社会福祉協議会の存在を知らなかった。これまであまり関わることがなかったというのが理由であると思うが、地域住民に役立つと思われる情報（ボランティアの情報や民生委員の派遣など）を、積極的に駅のポスターなど目立つところでアピールしてほしいと思う。
- 2 2 私だけかもしれないが、業務内容だけでなく存在自体も知らなかった。“ご存知ですか。八王子市社会福祉協議会”というようなポスターでも貼ってみては。もし既にされているようでしたら、ごめんなさい。
- 2 3 問9、問10に関しては、インターネットで調べた。認識不足なのかPR不足なのか全く知らなかった。今は余裕がないので、ボランティア活動は学校の付き合い程度である。話は違うが、知人に「消防隊に入っていて年間報酬がもらえて退職金制度まである。」と伺った。それでも「ボランティアだよ。」と話していた。ボランティアって何なのかと考えた。別に消防隊も無償でよいと思うのだが。結局、税金を使われているという事なのだろう。それならば、他のボランティアにも何か特典を付けてあげるとか。納税しつつ、使い道に少し疑問を感じる。他の人はどう思われているのか。※立場は非常勤公務員との事らしい。
- 2 4 アンケート資料をもらうまで「八王子市地域福祉推進計画」のことを全く知らなかった。私を含め、市民のたくさんの方々に知ってもらうことが大事だと思う。
- 2 5 具体的にどのようなことを活動していて、どのように関われるのかわからないため、PRが必要と思う。

- 2 6 時々、新聞の折り込みに活動内容が報告されているが、一般の人にとってあまりなじみがない。地道な活動をされているようであるが、場所がどこにあるか、活動内容がどのようなものであるか見えてこない。インターネットで調べると本当に色々な項目があるが、もっと宣伝が必要だと思う。
- 2 7 福祉に関心がない人でも目や耳に入るPR方法が必要かと思う。また、必要としていないせいかもしれないが、全く何の組織かわからなかった。別件だが、ボランティア活動していて万が一のためのボランティア保険に加入を勧められ加入したが、八王子市の人たちは個人負担で、一緒にやっている町田市の人たちは個人負担なし（市で負担）である。安価でだが、市政のスタンスか伺われるもとかと思う。是非、検討願う。
- 2 8 具体的に現在どんな活動をしているのか理解していないが、住民が安全で安心して住みやすい環境づくりが大切だと思う。それだけに、もっと活動の活性化を進めていただき、全員参加の八王子市社会協議会にしてみたいかがか。
- 2 9 ネーミングがとても堅苦しく、古めかしいので身近に感じない。誰もが気軽に門戸をたたけるような存在であってほしいので、何か工夫はないものだろうか。
- 3 0 八王子市社会福祉協議会でひとり暮らし高齢者人数調査をやっているようだが（私の誤認識かもしれないが）、この資料をもっと高度に利用することを考えてはいかがか。このリストに基づき、ひとり暮らし高齢者の生活状況を少し突っ込んで把握し、社会福祉協議会主導で、各地自治会などを使って、当該家族の定期的な訪問を地域でルール化するなどして、孤独死などの未然防止につなげる一助にしたらどうか（個人情報に関わることで制約はあるとは思いますが）。
- 3 1 高齢者社会を迎えて、今後の生き方や将来を考えている人が多いと思う。そこで、市の広報や八王子市社会福祉協議会が、見やすくわかりやすく、ボランティアの意義や講習会の案内、現状、諸外国の状況等を繰り返しPRしたらどうか。
- 3 2 回覧が回っているので、目を通してはいる。でも今のところ、自分の事として考えていない。役員さんがやってくれている位の考えしかない。身近に考えるような機会があればと思う。
- 3 3 我が家は夫婦2人暮らしの60歳代の年金生活者である。おかげさまで2人とも元気なこと、及び集合住宅住まいのためか福祉に関しての意識がない。八王子市社会福祉協議会に関しても広報紙が配布されているような気がするが、内容については殆ど目を通したことがない。自分の身の回りに福祉の支援を要するような状況がない場合、他人事としがちであると考え。我が家のような状況の市民もかなり多いのではないかと思う。そのような市民に対し、どのようにして広報活動を図るか、広報紙を読ませるかが大切ではないか考える（見出し等が大切かも）。

- 3 4 誰もが安心して暮らせるよう色々な取り組みをしているようだが、内容を把握している人は少ないと思う。年4回八王子市社会福祉協議会だよりが新聞折り込みに入っているが、きちんと読んでいる人が少ないと思われるので、重要なことは広報とダブって掲載した方がよいのでは。
- 3 5 八王子市社会福祉協議会の仕組み等をもっとPRする必要あり。また、我々との関わり合いについてもこの機会に知ろうと思う。住民との関わり合いがないと等しいと思われる。地域福祉権利擁護事業・成年後見制度については全く知らない。この機会に制度自体を知る心算である。
- 3 6 八王子市社会福祉協議会は、「住民のすべてが幸せで安定した生活ができるようにする」手助けが最大の目的である。その中でも「特に困っている人を助けること」である。市や八王子市社会福祉協議会のみで、すべてを完全にカバーすることは不可能であり、ボランティアやNPO等の活動を活発化して、それらが福祉の中心的な担い手とするようにしなければいけないと思う。市と八王子市社会福祉協議会が連携して、町会や自治会などの地域団体をリードしていくことも一つの方法である。この広い面積と55万人を超える人口を持つ八王子を担っていくには、それらの各種団体と連携していくことが、今後の進むべき方向と確信している。
- 3 7 大変苦勞をされていると思う。最近の風潮として、個々を尊重するためか、画一的なケアが難しくなってきたと思う。また、近くの学童保育所では協調性を高めようとした指導員の行為に対し、ある親から抗議が寄せられ、指導員がやめさせられたとも聞いている。一部の心ない人々により、八王子市社会福祉協議会の活動が縮小してしまうのではないかと、気に病んでいる。縁の下の力持ちという存在かもしれないが、もう少し前に出た活動をしてはいかがか。(主催事業を月1回開催等)期待している。
- 3 8 市当局や八王子市社会福祉協議会の福祉に対する戦略・戦術(プラン・施行手段)は、目にする市政報告やホームページで承知しているが、残念ながら取り組まれている地域福祉計画及び計画期間、また、その内容などは恐らく市民の80%以上が関知していないのではと思う。私の知るところでは、確か平成5年に【新地域福祉計画】が取りまとめられ、平成12年度から平成21年度まで、その実現を目指す期間であったはずである。このプランの実施内容や具体化したものは何があったのだろうか。福祉関連団体やボランティア活動参加者は、市の取り組みを具現化した事案を知っていると思うが、福祉にあまり関心のない市民大半は、これらの活動を知らない。八王子市社会福祉協議会は、これら福祉活動の市民との情報共有が責務ではないだろうか。平成19年4月には、市は保健所政令市になり少子高齢化を迎えて様々な施策の具体化が急がれている。地域福祉組織・ボランティア組織との連携・提携の掘り下げが肝要となるが、何よりも八王子市社会福祉協議会の存在と取り組みを市民により知ってもらう活動が大切と思う。

- 3 9 私の住む地区は新しく分譲され半年が経つが、未だに自治会も発足せずお互いさぐり合っている状態で、知り合う機会もなく、このままでお互い助け合えるのか心配だ。八王子市社会福祉協議会が地域福祉を推進するようになれば、このまちも変わると期待している。ただ、民生委員が地域住民のなかに居たとしても、高齢者調査から保健センターでのお手伝いまで幅広く活躍し、ほぼ無報酬の状態で飛び回っているため、これ以上民生委員の手を煩わせることは避けたい。予算の問題もあるが、八王子市社会福祉協議会の若い職員がもっと地域に出て、住民と一緒にまちづくりをし、住民同士の交流はもちろん、住民と八王子市社会福祉協議会のつながりを太くするきっかけをつくってもらえたらと期待している。
- 4 0 「助けてやる福祉」から「共助していく福祉」が望まれる現在、自立でき、互いに見守り、共助する社会、「自然と人と人との共生できるまち」づくりのための社会福祉が要求されている。特に高齢者・障害者・シングルマザー福祉に関しては、一律では解決できず、個別対応を迫られる現況では法人・非法人を問わずボランティア団体の力を幅広く組み込んでいくことが急務である。これは八王子市社会福祉協議会の役割のひとつとも言えるが、自主性を特に主張するボランティア団体との連携を更に強めるためには、法に基づく民間の福祉団体ということで、焦点のぼけやすい市政との位置づけや、民意の反映をどの程度公平にできるのかを明確に打ち出し、広報していく必要がある。
- 4 1 以前、ボランティア活動を始める際、大変お世話になった。ボランティア活動については、やる気がある方は大変多くいらっしゃると思われるが、どのように参加していけばよいのかがわからない方がたくさんいらっしゃると思う。そのような方をぜひ、社会活動の一環としてのボランティア活動に参加していただくためにも、より八王子市社会福祉協議会の広報活動に期待したい。
- 4 2 今後ますます高齢化が進む。そのため、八王子市社会福祉協議会活動の柱は高齢者対策にならざるを得ないと思う。特に、考慮願いたいのは「孤独死」防止で、八王子ではこのような不幸なことが生じないまちとして他の自治体の模範となりたいものである。そのためには関係機関の緊密な連携はもちろん、個人情報保護の壁を乗り越えた実態調査などをすすめ、適切な対応策を確立、実践してもらいたい。
- 4 3 今年度より自治会の役員となったが、八王子交通安全協会、八王子防犯協会及び八王子防火防災協会と自治会の安全推進部、交通安全協会支部及び自主防災との協働関係は明確であるが、不勉強のためか八王子市社会福祉協議会と自治会の福祉部とか、ふれあいの会等の協働関係は、いまいちはっきり描かれてこない。もし、これが八王子市社会福祉協議会と一般的な町会・自治会との関係があれば、行政・八王子市社会福祉協議会側から積極的な町会・自治会に関係強化の呼びかけを提案したい。

- 4 4 活動内容等の情報発信を充実させていただきたい。
- 4 5 希望意見：八王子市社会福祉協議会のホームページについて（お願い）
現在は、八王子市社会福祉協議会に支援等が必要な方々は、紙媒体の情報がよいという年代の人が多と思う。しかし、ますますインターネットが普及し情報等の取得は電子化するといった観点から、ホームページをみると、「事業や活動」などに関する情報は概ねわかるが、肝心の「アクセス方法（地図など）」が非常にわかりにくい。電話番号の掲載では、問い合わせしてから訪問するようになり2度の手間になる。八王子市社会福祉協議会が市役所のなかにあるということを探すのに苦労する。また、市役所へのアクセス方法を調べるのに、また手間が要る。
- 4 6 定年後、八王子市社会福祉協議会の会費（10,000 円）を払い始めたが、あることがきっかけでやめた。ボランティアをやっている時間がないので、せつかく会費を払い始めたのに、市の「公園の使用許可を出す窓口」の担当者の対応とその感覚にあきれて、市の職員が八王子市社会福祉協議会の会費（10,000 円）を払えばよいのではと思い、会費を払うのをやめた。今後、会費を払うことを再開するにはしばらく時間がかかる。一市民としてボランティアしたくても出来ない以上、会費を払うべきだと思うこととの狭間で心が揺れている。
- 4 7 特になし。機関紙はカラーが入っているが、モノクロだけでもよいと思う（同料金なら、カラー入りでもよいが）。
- 4 8 今後、私のような団塊の世代が高齢化するに従い、介護の問題が今以上に大きな課題になってくると思う。現在の介護制度は、すでに破綻しつつあり、介護を十分に受けられない高齢者が今後ますます増えてくると思う。一方で、ボランティアをしたいが、どうしたらよいかわからない人も多いように思う。国や民間の介護施設だけでは、今後増えつづける高齢者を支えるには限界があって、NPOやボランティアに頼らざるを得ないというか、行政や民間でできない部分をNPOやボランティアが支えていく仕組みづくりが必要と思う。そのような状況のなかで、八王子市社会福祉協議会が中心になって、各地域に高齢者や障害者を支えていく仕組みづくりを期待したいと思う。民間の介護施設・NPO・ボランティアが一体となった福祉のネットワークづくりとその運営管理の中心的役割を期待したいと思う。
- 4 9 障害福祉での無認可施設でのこれからの自立支援法への取り組みで、法内化が大変な状況のなかでどう取り組んでいくのかが見えない。また、八王子市は広範囲であり地域ごとのネットワークづくりが必要と感じる。その意味でも、八王子市福祉協議会の役割があると感じる。

- 5 0 八王子市社会福祉協議会で行われている活動の範囲のことではないようだが、現在の八王子市のタイムダラーの年齢が 65 歳からになっているが、もっと若い世代から（小学生からでもよいと思う）元気なシニアまで、幅広いボランティアの力を借り、現在に活かし、ボランティアされた方が気兼ねなくいつか人のお世話になることも出来、最後まで元気な方は純粋なボランティアとして終わることが出来れば素晴らしいことだと思う。65 歳でも、元気な方もたくさんいらっしゃるが、私自身 63 歳になり、何かと身体や力の衰えを感じるこの頃で、65 歳になってから果たして元気に人のお世話ができるかと感じてしまう。子どもの頃から社会に貢献できることの幸せと体験と経験の素晴らしさを身につけていける社会であれば、将来大きな力になるのではないか。人々の力と善意が還元し、循環されていける社会であればよいと思う。
- 5 1 八王子市においても市民後見人制度をつくってもらいたい。
- 5 2 年齢が進むにつれ、福祉関係の方々には頭の下がる思いである。今、私は現役で仕事をしているが、機会があれば福祉の勉強をさせて頂きたいと思っている。小さなボランティア活動は時間の許す限り参加している。私は 62 歳で退職となるので、その後どうすれば福祉に参加出来るのか、支援出来るのか、情報を知りたいと思う。
- 5 3 福祉に関しては、一部の人しか関心がないように思えるので、いずれ身の回りも含め、ほとんどの方々に関わりを持つ事象である。そのあたりを強調し、啓蒙活動をして欲しい。福祉で各個人がやろうと思えばできることを積極的にアピールしていただき、自身も参加していきたい。
- 5 4 10 年ほど前に実家のある某市の社会福祉協議会で、老人デイサービスセンターで介助員をしていたことがある。在宅介護における家族ならではの葛藤を見る機会があった。また、子どもを儲けてみて、改めて、介護も育児も第三者の見守りと協力、理解がなければ辛いということを実感した。昨今、介護職の方々の就労条件の悪さが取り上げられるが、八王子はいかがか。福祉関係の仕事をしたと思う意欲のある人が続けていける環境の整備も、充実した福祉関係の充実につながると思う。
- 5 5 八王子はこれから発展する都市であるはずで、そのためにはモデル都市になりうるべきで福祉の充実をしっかりとしてほしい。これからは高齢者の対応をすべきで子どもの支援より高齢者の対応をしてほしい。
- 5 6 正直まだ若いし、夫の両親も私の両親も地方に住んでいるので、福祉に関してはほぼ何もわかっていない状態である。私たちの世代はそういう考えの人も多いと思うので、もっと広報紙などで福祉についてアピールしたら、理解し考える機会も増えるのではないか。

- 5 7 現在、子育てをされていて、社会福祉の大切さを痛感している。例えば、ベビーカーで買い物をしていても、バリアフリーであるかないかでは断然行動範囲が違ってくる。今後は、老人介護の充実や育児しやすい環境の整備など、どの人でも住みやすい「八王子」に、ますますなっていってほしいと思う。
- 5 8 私自身サラリーマン時代は家族のため、会社のため、仕事のためにだけ一生懸命でボランティアとか地域福祉など、考えたこともなかった。会社を辞めてから地域との関わりやボランティアについて考えるようになった時、いざ、自由とゆとりが出来た時に何をしてよいのかわからず、する事がなかった。そんな時、どこに相談してよいのか困ったことがあった。今回の八王子市地域福祉推進計画についてはよい企画と思う。私の考えを書いてみると、若いうちから福祉に関心を持ち、自分は今からどんな福祉事業に貢献して行けばよいか、手軽に相談できる所があるとよいと思う。また、ボランティアといっても全部が奉仕でなく、何らかの報酬を考えていってもよいのではないだろうか。
- 5 9 私は今、ひとりで生活をしており、両親が他県で健在なこともあり、日常的に福祉のことを考えていないのが実情だが、もしかしたらと考えると、当事者の方たちにとっては深刻なことだと思う。様々な形で関わっている個人や団体が気持ちよく実施できる後押しが行政に必要であると思うし、社会通念上も税金が使われることに対する理解があると考え。私は順番で団地の役員をやっているが、やはり福祉にまでは手が届かない実情がある。民生委員の方がいるから任せましょうということになりがちだ。そのように、関わっていない人からは冷たくされがちだが、祖母のいる加須市では、一定の間隔で掃除や買い物をしに来てくれる。支援体制が必要。
- 6 0 母を昨年 93 歳で亡くした。90 歳に入りデイケアサービス・病院等、色々な機関にやっかいになり、皆様方のご支援に感謝をした。この様な体験は私自身初めてであり、本を読んだり他人から聞いたことより、もっと深刻であったのが実感である。特に老人の孤独感・幼児返りは多くの人に共通して見られた。また、孫世代への愛着は大きいと思う。全暇時間の多い老人と孫世代（2～4 歳）や共働きで時間的に困っている若者との接点を見出すことは可能だろうか。今後、学校統合・閉鎖等施設の活用のなかで、新しい形でのコミュニティが出来るとよいと思う。自分の体験で感じたことである。
- 6 1 若い時にボランティアを体験することは、とても貴重なことと感じている。本人自身を成長させることができる。そのためにも、ボランティアを体験できる窓口を学生たちに表示してあげることが大切ではないだろうか。老人施設等、こういうボランティアを募集しているよ・・・というチラシなど、夏休みだけでも出してはいかがだろうか。大学の掲示板に貼ってもらうだけでも充分だと思う。たくさんの大学が八王子にあるのだから、若い人にたくさん体験してもらいたい。

- 6 2 私も市民の一員として、出来ることに協力しなければとは思。だが、膝が痛むので、歩けなくならないようにジムで筋肉をつけるようにしているが、社会の役に立つような働きは残念ながらできそうにもない。
- 6 3 モニターになった事を契機にして、福祉について直接知る機会を増やし、先ず理解し、それから少しずつ参加するようしていきたい。
- 6 4 高齢化社会にむかって、心身ともに健康で生きがいのある生活をするために“生きがい”の講演会や、その他セミナーを開いてもらいたい。そして自立ホームとして、ある人はヘルパーに、ある人はトレーナーに、ある人は調理人として活動できるような、そしてその場所に行けば知り合い仲間と安価で食事ができるようなコミュニティの場があるような基盤を築いていけばよいと思う。まだまだ役に立てる 60~70 歳を男女共巻き込んでいける企画をたててもらいたい。
- 6 5 ここ大谷町では、小学生の登下校時に犬の散歩などをして、子どもたちに目が届くように奨められている。ボランティアというほど大きなことではないが、こういった小さな積み重ねが、やがては弱い人に優しい社会をつくっていくのだろう。今はまだ関わってはいないが、少しずつ目を向けていこうと思っている。
- 6 6 高齢者に対するサービスは、かなり充実していると思う。でも子どもに対するサービスは殆どない。長房町に住んでいるが、公園や子どもが室内で遊べるセンターをつくってほしい。
- 6 7 お手伝いが出来るなら協力は惜しまない。具体的にはどのようにすればよいのか教えてもらいたい。出来るだけ参加していきたい。
- 6 8 福祉に興味や関心があっても身近に情報源がないため、何もできないままになってしまう。もっと情報の公開をしてほしい。
- 6 9 夫（70 歳）は、2 年前直腸がんの手術で人工肛門になり、現在日常生活用具の支給の助成をしてもらっており、とても助かっている。その申請についてなのだが、4 ヶ月毎にこちらから市に連絡をして申請書を送ってもらうシステムになっている。申請する月を忘れないようにカレンダーに書き込んでいるが、つい忘れてしまうこともある。こちらから連絡しなくても、その申請月が来たら書類を送ってもらえるとありがたい。また 1 年に 1 度の申請だと、わかりやすく、手間も省けるのでよいのではないかと感じている。
- 7 0 仕事柄、ひとり暮らしのお年寄りと接している。今の仕事を始めて、ひとり暮らしのお年寄りの多さに驚いた。近所にご家族がいない方は、小さな事でも自由がきかず、不便で不安な暮らしをされている。休日、また、時間を問わず相談でき、できればかけつけてくれるようなサービスがあればよいのにとすることも思う。難しいことだとは思いますが…。

- 7 1 今、子育てをされていて感じるのだが、まず一番分かり合えるのは、同じ境遇の人たちである。少しでも年の違う子どもの親だとやはり話がかみ合わないと思うことがある。なので、子育てに限定していうのではないが、同じ境遇の人が集まれる場所・機会をつくっていくことが、地域に密着した福祉活動になるのではと思う。近隣に親切にしてくれる人はたくさんいるが、こちらばかり世話になると気が引けるので、お互い世話をできる方であると気持ちが楽に頼れることができる。近隣に同じ境遇の人がこれだけいる、とわかるようなネットワークができるとういと思う（たぶんこれはお年寄りにしても同じではないかと私は思う）。そのためには市などが主導して『〇〇の人たち集まれ！』のようなイベントをもっと増やせばよいのでは。
- 7 2 最近、私の高齢の祖母を母が世話をすることになり、認知症もあって、かなり祖母に振り回されているといった状態である。身内以外の人がいる時は意外にもしっかりとした様子を見せるので、母はなるべく他の高齢者の方と接したり、同じように介護されている方々との情報交換の場を持ちたいと言っていた（2人は八王子以外ですが）。そのような場が市内には既にあるのかもしれないが、高齢者や介護者、また、幼い子どもの育児で忙しい母親が社会のなかで孤立しないような仕組みはとても大切で、広く情報を知らせてもらいたいと思う。
- 7 3 高齢者の方々が集う拠点の数が、まだまだ少ないと感じる。私はホームヘルパー2級講座を受講し、施設実習を経験した結果、高齢者の方々が気軽に集まることができて、一緒に何かができる場所を身近につくることは、刺激を得る上でとても重要だと気づいた。このような場所が「長房〇〇」や「恩方〇〇」になるのだろうが、利用できる高齢者が地域的に限定されてしまう。もっともこのような場所が増えることを期待している。いずれ、私の両親を八王子に呼ぶ時が来るかもしれない。その時、「八王子は高齢者に気配りのきいたまち」と自信を持って言えることを願っている。
- 7 4 民生委員の方が主催されている“ひよこクラブ”（浅川市民センター）に参加させてもらった。子育て支援の企画では女性の方がほとんどだったが、こちらでは男性の方も多く、ちょうど祖父母よりも少しお若い年齢の方で他とは違うあたたかい雰囲気を感じ、毎回の活動内容もとても楽しめた。製作物も準備がしっかりされ、うれしく思った。地区によってこうした活動がある場とそうでない所があるのは残念である。私は集合住宅のため、町会や地域ということに正直あまり関わりを持っていない。現在は子育て中の主婦で家に居る時間が殆どなので、地域のことも知りたいと思っているが、あまりよくわからずにいる。同様に思う人も少なくないのでは…。
- 7 5 地域の環境整備に力を入れてほしい。

- 7 6 これからの少子高齢化にむけ、福祉はとても重要かつ必要になってくると感じる。実際、自分でも子どもを1人産んだが、産むのにも育てるにもとても子育てしにくい社会状況と感じた。2人目もほしいが経済的なことを考えると厳しいと考えている。高齢者の方の肩身の狭い状況もよくニュースで見聞きするが、何とかもっと住みよく生きやすい世の中になるよう願う。やはり高齢者を支えるには労働人口の増加が必要不可欠だと思うので、働きやすい環境や職業訓練などで福祉に目を向けられる余裕のある生活が送れることが大事だと思う。学校などでの教育を通して子どもたちにも意識する機会があるとよいと思う。
- 7 7 (1)基本的には、まず出産と末期介護は、全額無料受付を目指してほしい。申請後支援の方式では、時間差による効率、コスト、ミスや不法行為が多い。その次の段階として、教育と介護に力を入れてほしい。つまり少子高齢化への対応が最大の課題である。
- (2)アンケートより実体験者による運営が望ましい
(職員の現場参加または経験者採用による運営)。
自分は、身障者厚生施設で嘱託管理員として月20日ほど働いているが、そこにいる約半数の生活保護の人々の生活が、酒やパチンコそして無料医療を活用によるタクシー乗り放題の実態を見ている。残る年金や自己資金による生活者は、つつましく生活しており、その逆差別に強い怒りを感じているようだ。どのように立派な企画を立案推進していても、時間と共にルールは不心得者により、常に運用は抜け穴だらけになりがちである。これは、受付と審査のデスクワークだけでは掴みきれていないのは様々な事件が立証している。これで、支援や補助金の毎年見直しを行い、効率的運用を図ってほしい。

地産地消の推進について

産業振興部農林課

市では、市民の皆さんに市内産の農畜産物を今まで以上に利用していただくために、八王子農業のPRや平成19年4月にオープンをした「道の駅八王子滝山」に大型農産物直売所を併設するなど「地産地消を目指した流通・販売の確立」に取り組んでいます。

そこで、市民の皆さんの地産地消(市内産農畜産物の市内消費)についての御意見を伺い、今後の施策の資料として活用させていただきます。

(1) 地産地消

問1 「地産地消」とは、地元でとれた生産物を地元で消費するということですが、あなたは、この言葉の意味を知っていましたか。 (○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
言葉だけでなく意味も知っている	62.2
具体的な取り組み例も知っている	18.4
知らない	14.3
言葉だけは聞いたことがある	5.1

「地産地消」の言葉の意味を知っているかきいたところ、「言葉だけでなく意味も知っている」が6割強(62.2%)で最も高かった。「具体的な取り組み例も知っている」が2割弱(18.4%)で続いた。

問2 あなたは、「地産地消」に対して関心がありますか。 (○は1つだけ)

(n=98)

	構成比(%)
大いに関心がある	66.3
少しは関心がある	31.6
関心がない	1.0
無回答	1.0

「地産地消」に対して関心があるかきいたところ、「大いに関心がある」が7割弱（66.3%）で最も高かった。一方、「関心がない」は1.0%であった。

問3 あなたは、農畜産物（野菜、果物、花など）を購入するとき、何を基準に選んでいますか。（○は3つまで）

(n=98)

	構成比(%)
鮮度	90.8
価格	79.6
美味しさ	48.0
産地	34.7
生産者がわかる品質保証	29.6
姿・形	5.1
その他	4.1
銘柄	0.0
気にしていない	0.0

(複数回答)

農畜産物（野菜、果物、花など）を購入するとき、何を基準に選んでいるかきいたところ、「鮮度」が約9割（90.8%）で最も高かった。「価格」が8割弱（79.6%）、「美味しさ」が5割弱（48.0%）が続いた。

【その他】

- 1 一度購入してよかったところ。
- 2 安心・安全
- 3 無農薬・有機
- 4 有機栽培であるか。

問4 あなたは、市内産の農畜産物（野菜、果物、花など）を購入（消費）したことがありますか。

（○は1つだけ）

（n=98）

	構成比(%)
ある	91.8
わからない	7.1
ない	1.0

市内産の農畜産物（野菜、果物、花など）を購入（消費）したことがあるかきいたところ、「ある」が9割強（91.8%）と最も高かった。一方、「ない」は1.0%であった。

（問4で「ある」とお答えの方に）

問4-1 あなたは、市内の農畜産物を意識して購入（消費）していますか。

（○は1つだけ）

（n=89）

	構成比(%)
ときどき意識している	60.0
いつも意識している	30.0
意識していない	8.9
無回答	1.1

市内の農畜産物を意識して購入（消費）しているかきいたところ、「ときどき意識している」が6割（60.0%）で最も高かった。「意識していない」は1割弱（8.9%）であった。

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-2 その場所はどこですか。

(〇はいくつでも)

(n=89)

	構成比(%)
スーパー・デパート	55.6
農産物直売所	54.4
農家の個人直売	41.1
農畜産物品評会などイベントでの即売会	22.2
青果店	16.7
生協等の共同購入	15.6
その他	10.0
無回答	6.7

(複数回答)

問4で「ある」と答えた方に、市内産の農畜産物(野菜、果物、花など)を購入(消費)する場所をきいたところ、「スーパー・デパート」が5割半ば(55.6%)で最も高かった。「農産物直売所」が54.4%の僅差で続いた。

【その他】 ()内は同一意見数

- 1 道の駅八王子滝山(5)
- 2 南大沢会館ホール
- 3 農協
- 4 自宅が生産緑地に面しており、仲良くなった生産者からもらった。
- 5 ご近所の園芸愛好者によくいただいたり、自分でもプランター栽培を少ししている。

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-3 あなたがこの1年間に購入した農畜産物のうち、市内産の割合はどのくらいですか。

(○は1つだけ)

(n=89)

	構成比(%)
1割未満	40.0
1割以上～2割未満	18.9
2割以上～3割未満	15.6
3割以上～5割未満	8.9
わからない	5.6
5割以上	3.3
無回答	7.8

問4で「ある」と答えた方に、1年間に購入した農畜産物のうち、市内産の割合はどのくらいかきいたところ、「1割未満」が4割(40.0%)で最も高かった。「1割以上～2割未満」が2割弱(18.9%)で続いた。

問5 あなたが、市内産農畜産物の情報の入手方法として期待するのはどれですか。

(○はいくつでも)

(n=98)

	構成比(%)
店頭	60.2
市や農協等の広報紙	59.2
雑誌・折込広告・パンフレット・地図等	49.0
インターネット	23.5
新聞・テレビ等のマスコミ情報	20.4
説明会・交流会・イベント	19.4
その他	6.1

(複数回答)

市内産農畜産物の情報の入手方法として期待するものは何か聞いたところ、「店頭」が約6割（60.2%）で最も高く、「市や農協等の広報紙」が6割弱（59.2%）の僅差で続いた。

【その他】 () 内は同一意見数

- 1 広報はちおうじ
- 2 生協のチラシ
- 3 口コミ情報（4）
- 4 常時行く。

問6 あなたは、市内産の農畜産物が高産地より価格が高い場合、価格差がいくらであれば購入しますか。 (○は1つだけ)

(n=98)

	構成比 (%)
1割以上～2割未満	37.8
1割未満	30.6
高ければ購入しない	25.5
2割以上～3割未満	6.1
3割以上～5割未満	0.0
5割以上	0.0

市内産の農畜産物が高産地より価格が高い場合、価格差がいくらであれば購入するか聞いたところ、「1割以上～2割未満」が4割弱（37.8%）で最も高かった。3割以上の価格差がある場合は、0.0%であった。

問7 「地産地消」を推進していくために、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。 (〇は3つまで)

(n=98)

	構成比(%)
安全な農畜産物の提供	53.1
新鮮で美味しい農畜産物の提供	43.9
量販店における市内産農畜産物コーナー（インショップ）の充実	41.8
安い農畜産物の提供	38.8
市内産農畜産物の直売所の整備	33.7
学校給食への活用	30.6
旬を大切にした農畜産物の提供	23.5
生産者と消費者の交流機会の充実	7.1
地産地消をテーマとしたシンポジウム等のイベントや情報提供の充実	5.1
市内産農畜産物を活用した料理を提供する飲食店の充実	4.1
伝統料理、食文化の紹介	3.1
食品産業での利用促進	3.1
その他	2.0
無回答	1.0

(複数回答)

「地産地消」を推進していくために、今後どのような取り組みが重要であると思うかきいたところ、「安全な農畜産物の提供」が5割強(53.1%)で半数を超えた。「新鮮で美味しい農畜産物の提供」が43.9%、「量販店における市内産農畜産物コーナー（インショップ）の充実」が41.8%、「安い農畜産物の提供」が38.8%の4割前後で続いた。

【その他】

- 1 市内生産品の案内やE-mail や広報・市民センター等でのポスターで、販売場所や価格等の案内。
- 2 老人ホームでの活用。

(2) 農産物直売所

(問4-2で「農産物直売所」とお答えの方に)

問8 農産物直売所で購入する頻度はどのくらいですか。

(○は1つだけ)

(n=49)

	構成比(%)
月に1～3回以上	36.7
半年に1～2回	20.4
3ヶ月に1～2回	18.4
週に1回以上	10.2
年1回	10.2
わからない	2.0
無回答	2.0

問4-2で「農産物直売所」とお答えの方に、農産物直売所で購入する頻度はどのくらいかきいたところ、「月に1～3回以上」が4割弱(36.7%)で最も高かった。「半年に1～2回」が約2割(20.4%)で続いた。

(問4-2で「農産物直売所」とお答えの方に)

問9 農産物直売所で購入する主な理由は何ですか。

(○はいくつでも)

(n=49)

	構成比(%)
鮮度	91.8
旬のものが手に入る	55.1
価格	51.0
美味しさ	42.9
生産者がわかる品質保証	42.9
地域振興	24.5
生産者と交流ができる	4.1
姿・形	2.0
無回答	2.0

(複数回答)

問 4-2 で「農産物直売所」とお答えの方に、農産物直売所で購入する主な理由は何かきいたところ、「鮮度」が9割強（91.8%）で最も高かった。「旬のものが手に入る」が5割半ば（55.1%）で続いた。

（問 4-2 で「農産物直売所」とお答えの方に）

問 10 農産物直売所で購入する品目は何ですか。

（○はいくつでも）

（n=49）

	構成比(%)
野菜	95.9
果物	46.9
花卉・鉢物	28.6
加工品	18.4
豆類	8.2
牛乳	6.1
肉類	4.1
米	0.0
その他	8.2
無回答	12.2

（複数回答）

問 4-2 で「農産物直売所」とお答えの方に、農産物直売所で購入する品目は何かきいたところ、「野菜」が9割半ば（95.9%）で最も高かった。「果物」が5割弱（46.9%）で続いた。

【その他】

- 1 鶏卵
- 2 カブト虫の幼虫
- 3 わらび・竹の子、野菜に入りにくいもの。
- 4 和菓子

(問4-2で「農産物直売所」とお答えの方に)

問11 農産物直売所で購入する1回あたりの購入金額はどのくらいですか。

(○は1つだけ)

(n=49)

	構成比(%)
1千円以上～3千円未満	40.8
500円以上～1千円未満	34.7
500円未満	12.2
3千円以上～1万円未満	10.2
5千円以上～1万円未満	0.0
1万円以上	0.0
無回答	2.0

問4-2で「農産物直売所」とお答えの方に、農産物直売所で購入する1回あたりの購入金額をきいたところ、「1千円以上～3千円未満」が約4割(40.8%)で最も高く、「500円以上～1千円未満」が3割半ば(34.7%)で続いた。

(問4-2で「農産物直売所」以外をお答えの方に)

問12 農産物直売所を利用しない理由は何ですか。

(○はいくつでも)

(n=41)

	構成比(%)
近くにないから	58.5
場所がよく分からないから	46.3
品質がよくないから	4.9
価格が安くないから	4.9
販売品目が少ないから	0.0
姿・形が不揃いだから	0.0
駐車等の施設整備が不十分だから	0.0
季節や日によって入荷が不安定	0.0
サービスや接客がよくないから	0.0
その他	9.8
無回答	14.3

(複数回答)

問 4-2 で「農産物直売所」以外をお答えの方に、農産物直売所を利用しない理由をきいたところ、「近くにないから」が6割弱（58.5%）で最も高かった。「場所がよく分からないから」が5割弱（46.3%）で続いた。

【その他】

- 1 1箇所ですべての食品が購入できるスーパー／時間がない。
- 2 徒歩10分のところにあるが、置いていないことが多い。
- 3 無農薬ではないので。

問 13 市内における農産物直売所の数についてはどうお感じですか。 （○は1つだけ）

(n=98)

	構成比 (%)
積極的に増やした方がよい	51.0
どちらかといえば増やした方がよい	31.6
わからない	10.2
現状程度で十分	6.1
減らした方がよい	0.0
無回答	1.0

市内における農産物直売所の数についてどのように考えるかきいたところ、「積極的に増やした方がよい」が5割強（51.0%）で最も高かった。「どちらかといえば増やした方がよい」31.6%の「増やした方がよい」をあわせると8割（82.6%）を超えた。

(3) 道の駅八王子滝山

問 14 あなたは道の駅「八王子滝山」に行ったことはありますか。 (○は1つだけ)
(n=98)

	構成比(%)
行ったことがある	66.3
行ったことはないが、機会があれば行ってみたい	24.5
行った事はなく、今後も行かないと思う	5.1
無回答	4.1

道の駅八王子滝山に行ったことがあるかきいたところ、「行ったことがある」が7割弱(66.3%)で最も高かった。一方、「行った事はなく、今後も行かないと思う」は5.1%であった。

(問 14 で「行ったことがある」又は「行ったことはないが、機会があれば行ってみたい」とお答えの方に)

問 14-1 あなたは、道の駅八王子滝山にどんな品物があれば買いに行きますか？
(○はいくつでも)
(n=89)

	構成比(%)
野菜	89.9
果物	70.8
食肉・卵	53.9
花卉	42.7
農産物加工品	38.2
姉妹都市(日光市・苫小牧市)の特産品	25.8
ネクタイなどの特産品	13.5
その他	10.1
無回答	2.2

(複数回答)

問 14 で道の駅八王子滝山に「行ったことがある」「行ったことはないが、機会があれば行ってみたい」とお答えの方に、どのような品物があれば買いに行くかきいたところ、「野菜」が9割弱(89.9%)で最も高かった。「果物」が約7割(70.8%)で続いた。

【その他】

- 1 市内の美味しい洋菓子店・和菓子店の人気商品・「道の駅八王子滝山」限定グッズ（キャラクターもの）で、普段から使えるものなどや市外の人にお土産としてあげられるもの。
- 2 「道の駅八王子滝山」オリジナルスイーツ
- 3 特産品のお菓子・限定品・お土産になるようなもの。
- 4 八王子特産の醤油や塩・味噌など調味料。八王子の特産が1ヶ所で購入できる場所であってほしい。
- 5 地酒
- 6 和菓子
- 7 八王子市やさらに広い範囲の多摩地区のガイドブック
- 8 八王子情報誌
- 9 軽食コーナーの充実

（問14で「行ったことはなく、今後も行かないと思う」とお答えの方に）

問14-2 あなたが、道の駅八王子滝山に行かない理由はどのようなものですか。

（〇はいくつでも）

（n=5）

	構成比(%)
場所が遠い、不便	120.0
特に理由はない	80.0
スーパーや専門店に必要なものは手に入る	40.0
どこにあるかわからない	20.0
きっかけがない	0.0
その他	60.0
無回答	20.0

（複数回答）

問14で「行ったことはなく、今後も行かないと思う」とお答えの方にその理由をきいたところ、「場所が遠い、不便」が最も高かった。

【その他】

- 1 時間がない。
- 2 人ごみや混雑が苦手。
- 3 自動車を持たない。

問 15 道の駅八王子滝山では八王子関連の特産品を販売しているところですが、あなたが八王子のお土産としてイメージするのはどんな品物ですか。 (〇はいくつでも)

(n=98)

	構成比 (%)
絹織物	49.0
和菓子	44.9
農産物・果物	39.8
農産物加工品	21.4
酒類	15.3
工芸品	7.1
洋菓子	5.1
その他	13.3
無回答	1.0

(複数回答)

八王子のお土産としてイメージするのはどのような品物かきいたところ、「絹織物」が5割弱 (49.0%) で最も高かった。「和菓子」が4割半ば (44.9%) で続いた。

【その他】 () 内は、同一意見数

- 1 大学のグッズ
- 2 高尾山のグッズ
- 3 ラーメン
- 4 こんにゃく
- 5 子どもも喜ぶような、繭玉で作られたキーホルダーや工作の材料など。
- 6 ユーミン・サブちゃん・ファンキーモンキーベイビーズのCD&ポスターを貼る。
- 7 特産品のイメージがわからない。(3)
- 8 思いつかない。(2)

問 16 「地産地消」について、ご意見やご要望がありましたら、自由にお書きください。
(300 字以内)

- 1 八王子に「道の駅八王子滝山」ができてからは、野菜や果物は購入している。新鮮でしかも安価であるので気に入っている。地域振興を考えて大変よいことと思う。「地産地消」という言葉は知らなかったが、理想的なことで、無駄を省いて、美味しい物が購入できることは、生産者も消費者も価値があることではないだろうか。農業は、私たちが生きるために一番大切な産業であるし、最も豊かにならなくてはいけないと思う。私は身近な所に「道の駅八王子滝山」があり便利だが、八王子も広いので遠方の方は不便であろう。そういう意味では、更なる流通・販売の確立をし、直売所の拡大も必要。要望は種類を増やしてもらいたいと思う。
- 2 現在、母乳育児をしていて、特に身体に良い物を食べることを意識するようになった。なので、授乳中の母親が口にするとよい「地産」の食べ物がもっと身近に感じられればと思う。例えば、地元のスーパーや駅前などでも気軽に購入できればよいと思う。「道の駅八王子滝山」は今一番足を運んでみたい場所なので、今度行ってみようと思う。
- 3 強く意識をして普段の買い物をしているわけではないが、見かけると買おうかなと思う。私はスーパーではどうしても価格の安い方に傾きがちだが、同じ値段なら、形がふぞろいでも地元産の物を買う。「道の駅八王子滝山」の野菜は、わりと種類も豊富で、行きやすい（車）し、もっと種類が増えたら、なおよいと思う。
- 4 農家の個人直売は、スーパーで売られている野菜よりも美味しいうえに価格も安いのでよく購入するが、「道の駅八王子滝山」は少し価格が高いように感じる。「地産地消」を目指すのであれば、まず価格を見直すべきではないか。また、主婦の間では美味しい物というのは、口コミで広まっていく。市ではそれを利用して情報を集め、どこにどのような物が売っているのか、価格・定休日などを記載したパンフレットを作成し配布したり、学校給食に大いに取り入れたりして「地産地消」を進めてもらいたいと思う。
- 5 私は山梨県山梨市に生まれ、実家はぶどう園・桃畑・野菜畑・にわとり小屋、その中で育ち、名産はワイン、野菜を使った「ほうとう」、ぶどうには山梨全体で力を入れている。「道の駅八王子滝山」は種類が多く、毎週、土・日の休みに行くのがとても楽しみである。八王子ブランドの野菜が、また、ブタ肉が「名産」となると楽しみである。八王子はお菓子・絹はたいへん印象が強い。私も家の庭で野菜づくりを少しだけ楽しんでいる。安心して「子どもたち」「孫」に食べさせたい。
- 6 地域に農家が多く、農家の個人販売で購入することが多い。姿や形よりも新鮮で安いことに満足している。「道の駅八王子滝山」も時折利用するが、新鮮さは認めるが、価格は安いとは思えない。市場に出せないような、不揃いな物を安価に販売するコーナーを設けたらどうか。

- 7 「道の駅八王子滝山」は知っている。ただ「地産地消」ということで価格が高い。新鮮を売り物にしているが、新しい物もあるけど、スーパーと品質は変わらず、スーパーの方が安い。地方の地産を売っているのと変わらない。近くの人に聞いても高すぎるとのことで、同じことを言っている。「道の駅八王子滝山」より生協・農協の方が安い。あきる野市の秋川ファーマーズセンターも観光化されている。
- 8 「地産地消」には関心がある。なるべく八王子産の野菜を買うようにしている。卵も買うが、肉までは買おうとは思わない。「道の駅八王子滝山」にはたまに行くが、八王子産以外の物がたくさんあるように思う。品揃えが豊富でよいかもしいが、八王子産にもっとこだわってほしい。生産者と消費者の交流の場（収穫のお手伝い等）があったら楽しいだろう。近所の子どもが通っている幼稚園では、受け入れ先がないようで幼稚園の芋掘り遠足がないそうだ。どこの幼稚園でも土に触れる、地元の野菜を収穫できる体験をさせてあげられたらよいのと思う。
- 9 「地産地消」について、特に農産物について書いてみたいと思う。現に農協やスーパーにも地元の農家が直接農産物を展示してあるが、まだ少ないと思う。「道の駅八王子滝山」にも地元の農産物を販売しているが、販売を目的として揃ったきれいな物だけである。消費者はそんなものでなく、不揃いでも新鮮で安全な野菜を望んでいると思う。農家の庭先で販売しているが品数が少ないので、地域ごとに販売所を設け、八王子市で企画し実施してもらいたい。
- 10 地域で生産し、地域で消費するので、流通経費があまりかからないと思われるがあまり安くない。これが問題だと思う。八王子のネーミングをつけた商品を開発する（例えば、八王子ハムや八王子ネクタイ）。八王子の山を活用（例えば、シイタケ栽培・マツタケ栽培）し、安全で安心、新鮮で安いのが消費者の希望である。
- 11 近所で農家の方が自家栽培の野菜を安く販売しているのでよく利用する。安価で質が良い（＝新鮮で、美味しい）のが理由。「道の駅八王子滝山」も利用するが、遠いので日常的にはあまり利用しない。新鮮で美味しいのだが、「道の駅八王子滝山」は価格が高いように思う。「地産地消」も安いことが前提だと思う。「道の駅八王子滝山」などは、流通経路が簡略化されている（市場を通していない）分、安く販売できるはずだとの意識がある。曲がったキュウリ・サイズ不揃いの野菜など、もっと積極的に販売してもよいのでは。熟してから収穫するトマトやキュウリ、朝採りのトウモロコシなど、野菜や果物の本当の美味しさを我々は忘れてしまっている。価格は市場が決めていくのだろうが、やはりスーパーなどより少しでも安いことが条件。もちろん、農家の方も利益が出なければ意味がないのだが。以前、TVで傷の付いた野菜やサイズ不揃いの野菜、曲がったキュウリなどを刻んで、ファミリーレストランなどに卸して利益をあげている農家の紹介があった。こういった取り組みを行政が積極的に後押ししていくことは、様々な問題もあるだろうが、八王子の農業を育てていくためには大切な取り組みだと思う。

- 1 2 高価な物が多いなかで、何かサービスがあれば消費者も興味がわくと思う。
- 1 3 価格が安くないと手が出せないが、食べたいと思う。つくり手が損をするようでは消費者も快く食べられない。ジレンマはあるが、市として解決策があればと思う。
- 1 4 「道の駅八王子滝山」は、直通無料バスでもない限りは、行く機会がなかなかない。徒歩では無理だし、交通費をかけてまで行こうとは思わない。農協で、野菜も果物も手に入る。アイスクリームとラーメンはよいと思った。また、「地産地消」は良いことである。これからも八王子産の野菜を見つけたら、たまには買おう！と思いを新たにしたい。
- 1 5 「地産地消」はやはり物流の面から考えても、他の地域より安くて新鮮なものを望む。「道の駅八王子滝山」のような場所も、もっと近くにあれば行く機会も増えるとは思いますが、量販店や地域のお祭り・イベントなどで購入することができればどんどん利用していきたい。また、「地産地消」対象商品を購入すると何か特典（ポイントなど）があると買ってみようという意識も高まるのではないだろうか。
- 1 6 地元の野菜や花を買うため植木市には毎回行っている。近所の酒屋さんでも地元野菜を置くようになり、ミニ道の駅のようなものである。「道の駅八王子滝山」まではちょっとお年寄りには遠すぎる。まちなかにもJA八王子ふれあい市場があると便利だと思う。梅などを買いに久しぶりに「道の駅八王子滝山」に行った。やっぱり安いし、新鮮で色々な物を買ってきた。地元コーナーは多くの方が手を出していた。7月からはレジ袋有料になるというお知らせがカゴのなかに入っていたのだが、入っていないカゴもあった。入口のところなどにポスターで「7月から有料」というお知らせを出したらどうか。
- 1 7 農産物や花を「道の駅八王子滝山」に買いに行くが、南大沢からだといふと遠い。もっと近くにあると行きやすい。それは、新鮮で安価でボリュームもあり、安心して食べられるからである。今、食の安全・安心が求められ、家庭菜園が人気だが、私も今年から市民農園を始めた。広い意味で沢山の市民が「地産地消」を求めている。生産者も切磋琢磨して美味しい農産物づくりに励んでもらえると嬉しい。
- 1 8 農産物直売所を頻りに利用したいと思うが、近所がないので、利用しづらいのが現状。「道の駅八王子滝山」も距離があるので、頻りに通えない。「道の駅八王子滝山」ほどの規模でなくてもよいので、もう少し店舗数を多くしてくれるとよい。私の地元にも農産物直売所があり、帰省の際には必ず利用している。野菜が中心だが、どれも鮮度が良く、とても価格が安いので大変助かっている。また、地元の地粉を使ったうどん屋が隣接していたり、市をあげての目玉商品の開発とキャンペーンなどを行っているので、楽しく利用できる。八王子の農産物直売所ももっと積極的なキャンペーンなどがあると利用しやすい。移動販売などもよいのではないかと。

- 1 9 八王子市には田畑も多く、農産物も多く採れると思う。「道の駅八王子滝山」もよいが、わざわざ車で行くのでは、かえって高くついてしまう。広い八王子のことだし、市内各所で近くに直売所ができればよいと前から思っていた。市の各事務所や農協などで、恒常的に農産物等を販売するコーナーを設けてはどうか。
- 2 0 「地産地消」については、人間の体にはその土地で採れた物が一番良いというのを聞いたことがある。スーパーの常設コーナーや、無人の直売所で朝採れ野菜があると買うようにしている。見るからにみずみずしくて、美味しそうである。我が家の近くには、イトーヨーカドーがあり、時々八王子物産展があるので、その時は楽しみにして行く。「道の駅八王子滝山」にも行ってみたいと思うが、車がないと行けないのでなかなかチャンスがない。磯沼ミルクファームのヨーグルトやプリン、八王子名産の梅干・はちみつ・ケーキ・アイス等、色々美味しい物があるので、もっと宣伝したらよいと感じている。
- 2 1 私が住んでいる地域では車がないと直売所までは行けないと思う。スーパーでも片隅に並んでいるので、もっとアピールしたほうがよいと思う。
- 2 2 多くの人はその必要性と重要性を理解してくれるものと思うが、厳しい経済環境のなか、安心・安全・地域のためにお金を出せるのは富裕層にどうしても限られていると思う。当然、そのためだけにわざわざガソリン消費をして遠くにある「道の駅八王子滝山」に行くわけもなく、もっと身近なスーパー等で手に入らなければ購入するきっかけさえないと思う。価格の面では（国の政策かもしれないが）減反政策と転作奨励金の関係が今ひとつではないかという声も聞く。このあたりのことは私自身はあまり詳しくないので、直接農家の方の意見を伺うのがよいのではないだろうか。
- 2 3 日本の食糧自給率が 40%弱で農家の高齢化が進んでいること、また、遠く離れた国から食料を買うと輸送に大量の燃料が使われ、地球温暖化を促進すると知った。そこで、八王子産やその周辺の野菜等をできるだけ買うようにしている。たとえ少し高値でも、大変新鮮で栄養分も高そうで、そして何より美味しい。ただ自宅近くのスーパーでは、地元産の種類が少ないのが残念である。「道の駅八王子滝山」は、さすが種類も量も充実していて何度でも行きたいが、我が家から遠いことと、車を使うことで渋滞に遭い、環境に悪いかなど感じている。「地産地消」の促進のために、巡回型でもよいので気軽に行ける直売所が増えればよいと思う。
- 2 4 今回のテーマに関しては、私ひとりの意見というよりも女房に聞いた内容が多いのでご承知ください（買い物は、私はしないため）。農産物直売所に関しても、現在は八王子の農産物よりも川崎市の方が中心である（黒川地区の J A の直売所）。市内由木地区の J A 直売所は品数も少なく常設ではないようだ。「地産地消」を図るには常設の直売所が必要と考える。現在、我が家は車を所有していない。そのため、やはり近いところ（歩いて行ける距離）を求める。

- 2 5 私自身、市で生産されている物を購入してみたいという気持ちはあるが、情報が少ないのとわざわざ遠出をしなければいけないという面倒な気持ちがある。毎日、時間に追われている生活をしているとなかなか難しいかと。近くのスーパーなどで手軽に手に入るとうれしいのだが。
- 2 6 価格や距離の問題がなければ、たくさんの方が利用し購入したいと思っていられるのではと思う。
- 2 7 「地産地消」を意識するが、わざわざ遠方まで出かけて購入はしない。農産物直売所が、もし近所にあったら利用すると思う。「道の駅八王子滝山」で販売されている品物が八王子市街のお店で購入できたら利用する。他地域では、農産物直売所で「市」をやって、人を集めて人気があるようだ。カフェや雑貨屋さんでも「朝市」をやって、焼き菓子などと一緒に農産物も販売して楽しいイベントをやっている。他の店とタグを組んで販売することもよいのではないだろうか。
- 2 8 「地産地消」を発展させるためには、基地づくりが必要である。地域の空き家や町内の会館や地区センターを基地として、お店の開催日を広く知ってもらい、多くの人に利用してもらおう。地域によっては、近くに八百屋さんやスーパーがなく、不便な生活をしている人もいるので、今後「地産地消」を盛り上げてほしい。「道の駅八王子滝山」は駐車場に入るために並ばなくてはならないことが多く、つい買い物を諦めることもある。「道の駅八王子滝山」に行かなくても、このような地場野菜が買える基地づくりを願う。
- 2 9 できれば購入したいと思うが、近くに購入できる場所がないことや我が家の経済状況から安い物を買ってしまう。八王子市民ならではの特典（割引や、ポイント制度など）があると多少高くても買うと思うのだが…。
- 3 0 もっと身近に販売するところがなければ、遠いところまで出かけて買おうとは思わない。店舗を増やして、スーパーと提携するなどして販売店舗を増やさないといけない。
- 3 1 「地産地消」は大切でぜひ実行したいと思っている。散歩の時に庭先販売を利用した際、期待はずれを経験した事があり、がっかりして悲しくなった。品物が良くないと、「地産地消」の意味がない。京王ストアに地元の農家のコーナーがあり、ラベルに写真・名前もあり安心して買っている。南大沢のイトーヨーカドー前の直売もよい。しかし、毎日やっているわけではないので、わざわざは行けない。スーパーの中でいつでも利用できるとうよい。
- 3 2 (1)我が家の野菜等日常の買い物は、一般と同じでスーパーが中心である。スーパーでも地元生産者コメント入りコーナーを見かけるが、まだまだ少ない。組織的に取扱店を増やし、コーナー拡充・PRすることに行政（市役所）の援護があれば、よりスムーズに展開ができるのではないだろうか。

- (2)「道の駅八王子滝山」は何度か行っているが、車で行くため、インパクトがないとたびたび行くことができない。毎月、特売日を決めて実施し、リピーターを増やす方法はないだろうか（グルメシティの“一の市”は知名度が上がっている）。八王子で生産量の多い物で名産品をシリーズでつくる。栗は、八王子の生産も多いのでは。和菓子・くり弁当・ぜんざい・試食会等。
- 3 3 私の利用するスーパーには、群馬の農家が毎日採りたての野菜を陳列するコーナーがある。夕刻には殆ど売り切れになっている。八王子市内のスーパーには是非このような地場産コーナーをつくってほしい。広い市内で「道の駅八王子滝山」やJAだけに頼るのはもったいないし、近くで新鮮な農産物が豊富に買えるのは市民の特権でもあると思う。信用金庫や郵便局など出入の多い所に夏期間だけでも無人コーナーを設けてもらうともっと買いやすい。また、市民が土に親しむ少し大きめの貸農園など方々があると八王子に住んでよかったと実感できると思う。
- 3 4 普段はスーパーに行くことが多いので、地元で採れた野菜や果物、お肉など新鮮な物を店頭の正面に誰でも取りやすいように配置してくれればよいと思う。品数も多ければ、なおうれしい。
- 3 5 “八王子産”と大きくあると、自分の地域を応援したくて買ってしまう。しかし、大きなスーパーなどにそういう商品はあまり見かけないので、八王子産のコーナーなどがあるとよい。物産店などにわざわざ足を運ぶのは面倒だが、いつも行く店舗にそういう商品があれば多くの人が購入してくれると思う。また、農家の庭先で販売している野菜は、新鮮そうで大好きだが、いつ販売しているのかどこに販売所があるのかはつきりしないので、そういうガイドマップがあるとよい。
- 3 6 もっと気軽に地産品に触れることのできる環境を整える必要がある。「道の駅八王子滝山」などに遠出せずに済むよう、最寄りのスーパーなどに地産品のコーナーを置くのは、とても有効だと思う。顔の見える地産品であれば、昨今の食の安全問題についてもクリアになる。学校給食に地産品を積極的に使用することは、親にとっても子どもたちにとっても安心できる。また、子どもたちに「地産地消」のよい意識づけを与えられる。しかし、中学校の給食は全て市外の業者が調理しているのが現状である。いかがなものかと思う。市内の業者に市内の産物で給食をつくってもらえるよう、引き続き取り組みをお願いしたい。
- 3 7 市内全スーパーの一角に農産物直売所をつくり、市民も積極的に購入していったらどうか。
- 3 8 「地産地消」の取り組みは、コープとうきょう高倉店でコーナーがあり、必ず見て買う。採りたて野菜が他より安く買えるのも魅力。外国産より国産のかぼちゃの方が高価なのは、不思議に思いながらも国産を買っていた。八王子産なら喜んで購入する。これからも安全な食べ物を作ってくださいることに感謝し、購入させていただく。

- 3 9 魅力的な「地産地消」があれば帰省土産にしたいので、開発を期待している。都心のデパートで購入しているのが現状である。
- 4 0 八王子に住んで5年だが、これが八王子というブランド商品がないような気がする。行政が押しつけるべきでなく、市民から、民間企業から発生すべきものと思われるが…。八王子ラーメンのほかに学園都市八王子の意味から、学生がつくった美術品・農業加工品や、農産品の野菜等で八王子と掛け合わせた「8個入りとまとの8王子ちゃん」等、「道の駅八王子滝山」で試販していくべきではないか。
- 4 1 八王子の特産物（サトイモなど）をもっとPRすべきだと思う。農業祭に行ったらサトイモを買い、とても美味しかったことでいつも八王子産を購入している。他の野菜等をPRしてもらいたい。また、八王子産の野菜拡販のプロジェクトを購入者の目線で考えた仕組みづくりをし、「地産地消」を盛んにすべきと考える。ハードの強化（施設を増やす）よりソフト（八王子産の野菜のPR・美味しさ等PR）の仕組みを考えるべきと思う。
- 4 2 (1)農協の直売所のマップをホームページにつくってもらいたい。また、営業時間を購買者に合わせて変更または延長し、閉店時間は金・土・日だけでも午後7時頃まで営業してほしい。
- (2)ミニショップとして、週末だけでもよいので高尾山口駅前・八王子南口駅ビルまたは構内・西八王子駅構内にも設置、開設してほしい。
- (3)「地産地消」を超えて、八王子ラーメンに続くオリジナルフードを開発したい。旬の地元食材を中心に使用し、「八王子スープ」「八王子カレー」のように、公募のコンテストを開催し、ソウルフードをつくっていきたい。「道の駅八王子滝山」とかで販売できれば面白いと思う。ただし、あくまでも食材は八王子の農協で購入した地元食材を活用することを条件として開発したい。
- 4 3 例えば、秋田なら「きりたんぼ」、おとなり山梨なら「ほうとう」というように、八王子で採れた食材を使って、このように調理するとこんなに美味しい名物「八王子〇〇〇」が作ることができる。この「八王子〇〇〇」と「レシピ」を考案して、「地産地消」を推進してほしい。
- 4 4 京王ストア内などのスーパーで、八王子産の野菜を販売しているのを目にしたことがあるが、周りの野菜よりも割高という印象。八王子市内の私が住むまちでは見かけないが、民家の軒先（農家で畑を持っている家なのか）や、畑の脇に販売所を設けて売っている野菜は、新鮮で安く手に入れられる。地元の物だからこそ安く買いたい、買えるのでは、という意識が消費者の中にはあると思う。「地産地消」はエコである、新鮮であるという知識はあっても、それだけではなかなか買おうという気持ちにまではなりにくいというのが現状ではないか。今回、存在を知った「道の駅八王子滝山」は、ホームページを見てみた。ぜひ家族で行ってみたいと思っている。授乳室があるのはよい。

- 4 5 (1)地元の食材を使った料理コンテストや、小学校での料理教室を積極的に開催してはどうか。
(2)地元の食材を使った複数名での料理教室には、何らかの特典をつけてはどうか。
- 4 6 現在、生後6ヶ月の赤ちゃんがいる。毎日の食卓に安全で美味しい野菜を利用したいので、「地産地消」を大いに推進したいと思っているが、気軽に買い物に行くことが難しい。八王子の野菜を購入する場所が近くになく、たまに車で直売所のような場所を見かけるが、後でわからなくなってしまう。現在は生協の宅配を利用している。八王子産の野菜を宅配する、インターネット等情報提供の環境を整えることを早急に実施してほしい。
- 4 7 「道の駅八王子滝山」に「多摩」という焼酎が売っている。とてもまろやかで、美味で、行く度に買うが売り切れの時がある。無い時が35%位である。これの製造元が名古屋の方なのでびっくりした。多摩という名前だから、地元の物かと思ったら違っていた。多摩という以上は地元で製造した物を置くべきだと思う。
- 4 8 「地産地消」ということで地元の農産物をできるだけ利用したいが、農産物直売所の数そのものが少ないように感じる。また、見つけても価格が高めで購入には二の足を踏むことが少なくない。
- 4 9 「地産地消」はCO₂削減や食育に大変効果があると聞く。流通システム等について詳しいことはわからないが、農業の専業者だけでなく、生産緑地で土地を借りて趣味で野菜などをつくっている人の作物も一定の取り決めで地域の住民に販売する仕組みがあってもよいのではないかと思う。直売所は無人のところも多く、生産物のことがわからず利用しづらい面もあるが、販売者の窓口を増やすことで身近が高まることを期待できると思う。
- 5 0 八王子は東京にありながら自然が豊かで農業もさかんな土地だと思う。近所の量販スーパーには地元産の野菜販売コーナーがあり価格は割高なことも時々あるが、新鮮で味も良いので好んで買っている。地元の農家を応援するためにも、今後このような地元産野菜の販売コーナーが増えていけばよいと思う。また、小学校では社会科の時間に地元の地形や産業について学習する機会があり、近所の農家を尋ねて話を聞いたりする時間があるという。給食の食材に地元の農産物や郷土料理を取り入れる機会をもっと増やしていけば、授業の理解を深めたり地元の産業を身近に感じるができると思う。
- 5 1 (1)農産物特売所の数を増やしてほしい。
(2)野菜等の安定的、豊富な供給を確保してほしい。「道の駅八王子滝山」では、野菜など午前中の早い時間に売り切れているようだ。

- 5 2 「地産地消」の流れによって八王子を活発化させて貰いたいと願っているが、八王子のいわゆる“旧市街”に近い地区では、(知っている範囲だけなので、他にもあるのかも知れないが) 農産物直売所は、「道の駅八王子滝山」だけでは心細いと思う。大型スーパーやコンビニ等があり、難しい面もあるかと思うが、場所をもう少し増やせないものかと思う。
- 5 3 「地産地消」という言葉は、はずかしながら小学生の子どもが授業で習ったことから私自身も知った。小学生の授業でも「地産地消」の大切さを教えていただいているようだ。地元の商品をよく買う所は、個人直売所です。理由は、新鮮で価格が安いから。残念ながら、家の近くには直売所がないので、その付近を通った時には必ずといってよいほど立ち寄る。農産物直売所や個人直売所が少ないので、もっと増えれば大変うれしい。
- 5 4 「地産地消」は、ぜひ私自身も賛同したいが、実際に直売所がどこにあるのかわかりにくいので、直産品の購入には困難を要すると考える。もう少し、直売所の整備と「地産地消」のPR活動に力を入れて、市民の多数の理解を得られるよう、市が努力されることを期待する。
- 5 5 せっかく八王子の農産物なのだから、地元の人に食べてもらいたいと思う。ただ、スーパーよりもよい物を安くが大切。そして、八王子は何が名産なのか。何かアピールするのも大切である。特産があると、八王子以外にもPRでき、八王子自体を広く知らせることができると思う。また、販売の場所も、いつでもどこに行けば買えるのかPRも必要である。せっかくなので、畑の横で売ってもよいのではないだろうか。近所の畑の物を近所の人を買うのもすてきだと思う。「道の駅八王子滝山」は夕方になると商品の数も少なく、できれば補充してもらえると嬉しい。
- 5 6 八王子の農業についてはとても興味があるが、情報があまりにもない。もっとつくり手の顔や市の宣伝の後押しが必要ではないか。野菜を食べるなら、地元の新鮮な物を食べたいので、もっと消費者と生産者のつなぐ役割を市が担ってほしい。
- 5 7 「地産地消」・・・大賛成である。八王子は農家も近くにたくさんあり、恵まれた環境なので、もっともっと農協や市が八王子の野菜を買える場所を増やして、直売所を増設してもらいたい。私は、大和田のJA八王子ふれあい市場に車で買い物に行くが、新鮮な野菜に元気をもらっている。世の中の人々の動向は、まっすぐ伸びた姿勢のよい野菜ではなく、曲がっていても味と新鮮さのある野菜を求めている。市の姿勢として、この自然と共生し、また都心までも40分位で行ける八王子の地の利をいかし、都内の人々が新鮮野菜を求めてやってくるような、元気のある八王子にしてほしい。
- 5 8 八王子でどんな食物がつくられているかも全く知らないなので、まずはそこを理解するところから始めないといけないと思う。広報にも、もっと「地産地消」の記事を増やしていけたら、市民にももっともっと理解を深めてもらえると思う。

- 5 9 あまり、聞きなれない言葉ではあるが、「地産地消」は、子どもの食育にも役立つ。実際に育てている畑などを見せることもできるので積極的に取り入れたいと思う。
- 6 0 生活クラブ等にもっと地場産をPRし、買い求めることができるよう働きかけしてほしい。
- 6 1 これは地域に限ったことではないが、清掃工場近くや幹線道路沿いの田畑でつくられた作物は、化学物質などの影響も考えると買うのが怖い。これを逆手にとると、安全な土と空気のもとでつくられている「地産」をアピール（もちろん本当であることは言うまでもないが）したら、多少高くても「安全」代として、購入したいと思う。
- 6 2 イトーヨーカドーで見つけて「八王子産だ」と、購入したことがある。現在、エコストと2店だけで購入しているので他の店舗での購入は考えていない。2店の店頭で並んでいれば考える。しかし、1割前後の価格差なら協力するが、それ以上では購入の対象外になる。実家は農家なので、生産者の皆様に協力したい気持ちはあるが、今の日本は国民に不安感を与え、メディアは不安感（介護・在宅介護の地獄・年金）をあおるだけで60代以上の人にとっては、安心感が持てない。私は現在、年金生活者のひとり暮らしである。他に少し収入があっても、いくら新鮮・安全でも価格差がネックになると思う。
- 6 3 私は趣味で登山をしており、様々な地域に行っている。山が近いところなのでスーパーに行くときよく地域の農産物が置いてある。地域によって、コーナーはあるが品物はほとんどないところや、一種類だけおいてある店から多くの種類がそろっているところまで様々である。八王子市の場合は、ニーズの方が多いと思うので、コーナーをつくっても売り切れてしまうと思う。私の家の近くには、たまたま農家の方が軒先で野菜を売っており、ヤーコンなどを買ったりする。ただし、いつも購入するかというところでもなく、百草団地にある八百屋の野菜をよく買う。それは、ほしい物があるし、美味しいからである。「地産地消」を推進する際は特徴のある品を準備するとよいだろう。
- 6 4 具体的な活動や方向性が見えず、八王子のまちをどうしたいのかがまるで見えない。ほんの一部の方々が知恵を出して、その部下が仕事だから仕方なく汗を流しているのではないだろうか。珍しいから来る、買う、飲食する。それで長続きするだろうか。「八王子の特産物は何？」と聞かれて、親は子どもたちに教えることができるだろうか。高尾山がミシュラン効果をあげているが、八王子市は高尾山に「地産地消」そんな活動をしているだろうか。地元の住民が生活のために一生懸命働いているのではないだろうか。もっとたくさんの方々の意見や考え、生活環境を基に地域経済の方向性に全員参加の活動に期待したいと思う。私自身、是非ともそんな活動に参加して、地域の活性化を図りたいと思う。八王子の町中の閉まっているシャッターも気になる。

- 6 5 皆さん努力されていることはよくわかる。また度々立ち寄ると話をしたり、顔の表情もお互いに伝わるので、この活動を地道に続けていくことが大切だと思っている。
- 6 6 近年、都外や外国で生産された食材が、スーパーやコンビニエンスストア等で簡単に手に入るようになり、数十年前と比べると、私たちの食生活は多種多様なものとなってきた。しかし反面、食品偽装など私たちの食が脅かされる事態が相次いで発生したことで、生産者と消費者の距離が遠くなっていることに改めて気づいた。このようななか、食に対する安全・安心のためにも、地元で生産された新鮮な農林水産物が食べられることができれば、地域経済の活性化につながっていくことと思う。地元で生産された物を地元で消費されることが一番望ましいと思う。
- 6 7 「地産地消」については賛成である。地元に対する意識が高まるし、大がかりな輸送を伴わないので、運送費がかからず、価格抑制と排気ガス削減につながるエコ消費と認識している。ただ、八王子市は海がないので海産物に関しては「地産地消」できないのが難点である。また、農産物直売所の数も少ないと感じている。特に、私の住むニュータウン地域（由木東管轄）に関しては高齢者も多く、J A八王子由木支店までダイレクトで行ける交通機関もないことから、今ひとつ意識が高まらないのではないだろうか。これを打開する案として、由木東事務所内にアンテナショップを開設してみたいか。また、委嘱式で話にあったマップづくりも意識昂揚には有効であると思う。マップには里山クラブなども載せてもらえたら、ありがたい。ぜひ検討してほしい。
- 6 8 「地産地消」即ち生消交流だと思う。食品の安心・安全・新鮮が3大要素で、これを踏まえてどれだけポリシーを貫徹できるかである。私の地元農産物の購入は富士森公園でのイベント・八王子まつり・いちょう祭り等々の何らかの催し会場でのことである。農産物直売所で知っているのはJ Aふれあい市場のみである。直売所は7ヶ所あるようだが、場所と開催日・開催時間がまちまちで、毎日開催は3ヶ所である。いずれにしても開催場所の更なるPRと開催時間の延長が望まれる。確立された取引ルートや価格交渉など難しい面が多々あると推察されるが、八王子市内にある量販店・スーパーなどに地産品の特売コーナーをもっと設置するなど「地産地消」の意義を知ってもらう努力が必要ではと判断される。
- 6 9 子どもが生まれてから無農薬や有機野菜の購入を積極的に行っている。マクロビオティックにも妻が少し興味があるようなので、「地産地消」にも関心はある。無農薬・有機野菜であればもっと積極的に購入するので、是非、無農薬・無化学肥料に力を入れてほしい。

- 7 0 地元で採れる物を地元で消費するというのはよい考えである。今、騒がれている食品の安全の面から見て、何処でどのように育てたか分からない水産物・野菜加工品（冷凍食品）で農薬が多量に含まれていた問題が発生、中毒を起こし大きくクローズアップされた。今は中国製というのは、安くても手が出なくなってしまった。それと当然、遠くから食料を運んでくれば燃料が必要になる。CO₂の削減の意味でも近場の産物を消費するのは理に適っている。フードマイレージの問題である。農林水産省の取り組みも一貫性が無くて本当に問題だが、将来の食料確保を考えると国内の農業を守らなければいけない。先進国でも農業への補助金を出している。食品自給率が40%の日本の現状では、将来食料危機がきた場合、日本の国民が飢え死にすることにもなりかねない。世界を見回すと餓死する人が後進国で多数あるが、食料を粗末にする現状の日本を見ると、私の子どもの頃の食べ物で大事にする考えが廃れてしまったようで悲しいものがある。
- 7 1 私の家の裏は、市街化調整区域で緑が手つかずのまま放ってある。特に竹がすごい。そのため、春には竹の子がたくさん採れると思う。八王子にはたくさん市街化調整区域がある。土地の所有者の方も手入りに困っていると聞いた。なので、八王子市で自然から採れる物を収穫・販売するシステムをつくれないうか。近所にサバイバルゲーム場の問題が出た時に、土地の所有者さんが管理に困っていると聞いた。手入れの行き届かない土地がたくさんあるのだから、これらの場所を活かす方法を考えてみるのもよいと思う。
- 7 2 土地も充分にあり、水もきれいな八王子では食料の元となる自然が豊かにある。「地産地消」は知っていたが、自らすすんで地元の物を食べようとは思わなかった。しかし、今回のアンケートで、同じお金を使うなら地元の経済の活性化につながるのもったいないと感じた。八王子の農業畜産業に携わる人が多いのか不足しているのか、また八王子産の物がどのくらい消費されているのかもわからない。今の私にできることは、直売所で食材を購入することしかない。ただ、直売所は朝早く昼頃行っても品切れというイメージが強いので、なかなか足が向かない。八王子の活性化のために何かできることがあったら教えてほしい。
- 7 3 「地産地消」については、あまり知らなかったので少し調べたところ、地域の活性化や食料自給率の向上につながることから大変有意義な事業だと知った。また、食の安全性が叫ばれるなか、消費者が安心して食べられる物が身近で手に入ることが、とても大事なことだと改めて思った。八王子にはすばらしい自然や有効地もまだまだ残っていると思う。今後は、より一層貴重な財産を「地産地消」事業のために活かしてほしい。また、私が認識不足なこともあり、周りで「地産地消」の姿があまり見えない感じがする。今後は、もっとPRが必要だと思った。

- 7 4 一週間のうちに4～5回は近くのスーパーに買い物に行くが、野菜売り場などで『これが地元で採れた物ですよ』というような表示は見たことがない。それでも新鮮な物を売っているのだから安心して買っている。地元の産業は何でも優先的に買ってあげたいと思っている。無理と思うが、自動車で巡回して売って廻るというようなことはできないか。例えば、町会会館駐車場、駅前広場など。毎月、決められた日に巡回するのはどうか。
- 7 5 (1)消費者が満足する産物であるか（品質）。自分はよい物をつくっているという自己満足に陥っていないか。
(2)価格は消費者の納得する価格か（価格）。これだけの経費がかかるという積み上げ方式ではないか。
(3)消費者の必要なときに供給しているか。たとえば、少なくとも数日前には採取情報を消費者に流すなどして購買計画を立てる、チャンスをつくる等の手立てを打っているか。品質・価格・時に対する徹底した意識改革を行い、生産者・直売所・スーパーなどの産地コーナー、広報も含めた体制の再構築が必要である。産物を冷凍保存し、高値の時に出荷する従来型方式が念頭にある限り、「地産地消」の成功は望めない。
- 7 6 「地産地消」の推進のための基礎的な情報としての「農産物販売所等のマップ」の作成・配布に期待している。八王子には多摩地区唯一の「と畜場（食肉衛生検査所）」があるが、市内の畜産農家の振興も関心事である。大きなテーマのひとつとして取り組んでほしい。
- 7 7 最近ですが、特に外国産の食品の安全性が疑わしく、今まさに「地産地消」が求められていると思う。（また農家の方たちを大切にすることも）八王子は畑も多く需要も高いと思うので、市でももっと力を注いでもらいたいと思う。
- 7 8 地元で生産し、地元で消化することにより活性化や生産性を上げる目的なのかな・という程度の知識しかない。消費者は多くの方が新鮮・安全で低価格などで買っているのを観察している。今の家族は、少子化で沢山の食料は不要で、少なくともよく、ある程度きちんとした確実な物が期待したいのだがという方も少なくないと思う。農家でも（生産者側）も、肥料や人件費等を考えると割に合わない部分もあるので安く提供というのは難しいと思う。給食に賄えるほどの自給力も期待できそうにない。もっと助け合い、うまく効率がよいのが望ましい限りである。今後に期待する。自分は何ができるか・・・できれば自給自足である。
- 7 9 確かに「道の駅八王子滝山」は「地産地消」ということかも知れないが、加住地域の農家には身近なところで個人との関わりで対応できるかも知れない。八王子市全域の農家が個人個人で販売するのは大変だと感じる。販売額がかなりの売り上げがあるとされているが、そのような生産があるなら集配の業務の集約を考えるべきと思う。組合というシステムを有効利用することが欠けていると感じる。

- 8 0 地元で生産しているので、生産者の氏名や似顔絵等も書かれてあり、生産者との結びつきがあり、信頼関係も強くなる。よりよい品物をつくるための自給率も上がり、お互いにプラスになっていると思う。機会があれば生産者の農家を訪れ、地元で収穫されたばかりの野菜等の試食会や、美味しい食べ方などを教えていただき意見交換をしながら、楽しく交流会が持てたら更に地域交流の輪が広がり、地域活性化にもつながっていくのではないかと思う。
- 8 1 昨今は食品の産地偽装、輸入食品の有害問題等で、消費者は食品の購入には気配りせざるを得なくなっており、今後ともそれは続くと思う。そのようななかで、八王子産の安全な食べ物は野菜が主となると思うので、「道の駅八王子滝山」のような場所の設定とそのPRが重要と考える。また、八王子のお土産といえば、絹やネクタイがまず頭に浮び有名であるが、その他には何が挙がるかわからない。何か市民に意識させる物を定めて宣伝することも大切かと思う。
- 8 2 「地産地消」は聞いたことはあったが、全国的に農畜産物が有名な各地に当てはまるものと思っていた。産物の生産量が多い部分を市内消費していくという考えだったので、八王子とこの言葉をつなげるという考えは、今まで殆ど持ったことがなかった。スーパーで生産者顔写真を添えて販売されている物は、よく見て意識するが買うまでにはいかず、同じ国産であれば山積みになっている少し安い方を選んでしまう。個人農家の方が庭先に出されている野菜は、その方を知っている場合はよく買う。「道の駅八王子滝山」は何度か利用している。あそこはなぜ成功したのかと思うほど周りでも好評だ。成功例をもとに新たな道の駅に期待する。
- 8 3 地元で採れた野菜を食べたい。でも、安全なのかよくわからないので。また、価格も安すぎる感があるので、本当に美味しいのか疑ってしまう。見た目より、味や価格をわかりやすく提示してくれれば、私は八王子の野菜をたくさん買いたい。
- 8 4 輸送費のコストや輸送に伴う環境への負担を考えると、積極的に進めなければならないと思う。また、八王子は農業が盛んであり消費者も多くいるので、地元で消費することが経済効率としても一番よいことだと思う。私は地元の野菜を購入することがある消費者だが、消費者の立場から率直な意見を述べると、重視したいのは地元の野菜なのだから当然「鮮度」がよくなければということと、「価格」が満足するものかどうかで判断する。正直なところ、品が同等で地元の野菜と、そうでない野菜の値段が同じならば、どちらを購入するかといえば、やはり地元を応援する意味でも地元の物を購入するが、少しでも高ければ購入しない。価格重視である（農薬が少ないとか使用していないなどの表示があれば、価格ではなく安全度を優先すると思うが、私の購入しているお店には、その安全度は書かれていないから価格重視になる）。安全で低価格の物を消費者は求めているので、そのニーズにあった対応を生産者とその枠組みづくりを行政にもバックアップしてもらえたら、生産者も仕事が充実できるのではないか。

- 8 5 (1)過度の支援や保護はその産業を弱体化させる。
- ①新鮮だから美味しく安くなければ、存在価値がない。形が悪いとかは許せるが、物流・在庫管理コストや鮮度の優位さがあるのに、高くてもよい等と甘えるのでは、一時的ブームで終わると思う。
- (2)「道の駅八王子滝山」は実験店舗であり、本格的には広く波及させてほしい。
- ①各地域の店舗で、地産の農産物を置くように推進してほしい。
 - ②J Aも今までの中間搾取殿様商売では先がないので、強調したり競合したりで将来ビジョンを研究しあってほしい。
- (3)個人園芸者への支援も要望する。
- ①高齢者は私のようなベランダ菜園からセミプロ菜園まで質・量とも増加しているはずである。
 - ②ピンピンコロリで福祉厚生予算削減のためにもなると思うので、この人たちへも究極の「地産地消」として公的空地の貸与（1年更新）や農作業教育支援や上記販売店舗への展示斡旋などを支援してもらえないか。
- 8 6 八王子市は土地もあり農家も多いので、国全体の視点から考えても自給率をあげるのなら、まず各々の土地で「地産地消」の活動を推進していくべきだと思う。

